

東日本大震災 対策本部情報	34号	2011/03/26 16:15現在
------------------	-----	-----------------------

各地本委員長殿

8 地本書記長会議で

盛岡、仙台、水戸地本への今後の支援体制を確認！

本日、8地本書記長会議を開催して、盛岡、仙台、水戸地本への支援体制と今後の取り組みを意志統一しました。

震災発生後直ちに3地本への支援体制を確立し、水や食料品、燃料などの緊急支援を行ってきました。その後、各地本は組合員・家族の安否確認や家屋の被災状況を確認し、避難所なども訪問し組合員・家族からの要望も集約しています。

震災から2週間が経過し、ライフラインの復旧も進んでいます。しかし、未だに復旧が遅れている地域もあります。さらに、福島第一原子力発電所事故の影響で、避難や屋内待避命令が出され、避難を余儀なくされている組合員・家族もいます。

今後の支援物資については、避難や被災した組合員・家族の要望に基づいて支援を行うことを確認しました。

本部は、震災発生後直ちに被害が大きい盛岡、仙台、水戸地本と連携を取って、各地本全組合員に復興に向けた支援要請を行ってきました。しかし、震災の被害は全地本で確認されています。さらには、日夜復旧作業に従事している組合員や東京電力の計画停電にもなう、列車本数の削減や運休のなか安全輸送に従事している組合員も存在します。

今こそ、JR東労組が培ってきた全組合員参加の職場活動を職場で推し進め、全組合員で難局を乗り越えましょう。

JR東労組本部